



豊かな自然を特色ある活動に

～庄内浜を通して元気で明るく思いやりのある子どもへ～

鶴岡市立湯野浜小学校

庄内浜と共に

6月になると、毎年恒例の砂の造形大会、7月には海開きと庄内浜がたくさんの人でにぎわいます。その時期に合わせ、環境教育の一環として自然を大切にすることを育てるクリーン作戦を行ないます。地元の庄内浜をきれいにし、みんなに気持ちよく利用してもらおうという思いやりの心も育まれます。

浜がきれいになったところで、「砂の造形大会」が開かれます。全校児童120人が縦割りで4班に分かれて取り組みます。上級生がリーダーシップをとり、全て自分たちで考えて計画し、制作していきます。みんなで協力して完成した大きな砂の造形は見に訪れる人々を魅了します。

7月には、6年生の遠泳大会が行なわれます。地域の方々をはじめ、たくさんの方々から協力を得て約1kmの遠泳にチャレンジします。

海水浴シーズンが終わり9月になると、2回目のクリーン作戦を行ないます。たくさん学習したり遊んだりした庄内浜に感謝を込め、ひとつひとつごみを拾います。

津波対策

学校が海にとっても近いことから火災や地震の他にも津波対策として年2回避難訓練を行なっています。

2回の津波対応の避難訓練の内、1回は鶴岡市の津波情報伝達訓練と一緒に避難訓練を行ないます。標高の高いところまで避難しなければならないため、グラウンドに集まるのではなく、校外の目的地へ向かいます。防災自治区の人や地域の人、防災教育アドバイザーの方々から指導やアドバイスを受け、避難方法をしっかりと学んでいきます。

次の訓練では、前回の反省点や改善点を明確にしたうえで臨みます。また、あらゆる場面を想定し、授業中や休み時間中などに実施することでより柔軟な対応ができるようにしています。

クリーン作戦



一列に並び、ごみを見逃さないように注意しながらスタートです。昨年は、地元の方々やサーフィンをしている人たちも参加してくれました。

砂の造形大会



砂の造形大会は、地域の自然環境に親しみながら創造する喜びを体験させようと1978年から毎年行なっており、今年で36回目を迎えます。子どもたち一人一人がいきいきとした表情で楽しく作っています。

遠泳



子どもたちはたくさんの地域の人に見守られながら海水浴場の砂浜を目指してがんばります。

津波避難訓練



津波対応の避難訓練では、地域の方々と一緒に実施しています。混雑した道路を2列になって速やかに目的地を目指します。避難場所は学校の屋上よりも高く、安全が確保できる高さにあります。